

イチゴ「ゆうやけベリー」の 収穫時期別の果実成熟過程における品質

福島県農業総合センター 生産環境部 流通加工科

1 部門名

野菜—イチゴ—流通

2 担当者名

木村真澄、矢吹隆文

3 要旨

本県育成イチゴ品種「ゆうやけベリー」について、収穫熟度の判断に役立てるため、収穫時期別に成熟過程における果実品質及び開花から収穫までの積算温度を調査した。

その結果、「とちおとめ」と比較し、糖度及び酸度は高く、開花から10分着色までに要する積算温度は低いことが明らかとなった。

- (1) 糖度は、いずれの収穫時期においても「とちおとめ」より高く、酸度は、年内及び厳冬期に開花した果実において「とちおとめ」より高かった(図1、年内、暖春期のデータ省略)。
- (2) 果実が開花から10分着色までに要する積算温度は、いずれの収穫時期においても「とちおとめ」と比較し低い傾向であるため、収穫遅れに注意が必要である(図2)。

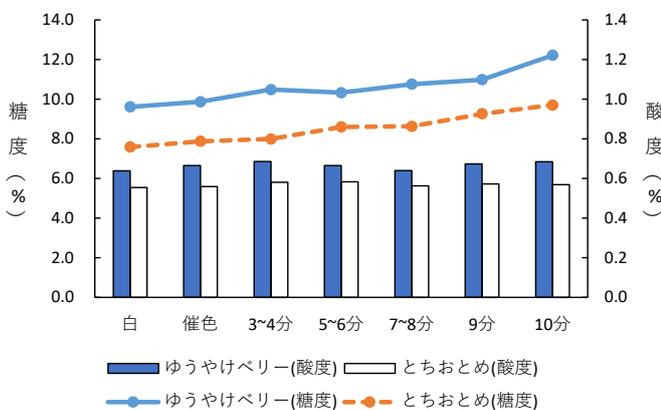


図1 厳冬期の着色程度別の糖度、酸度
※催色 わずかに色付いたもの。

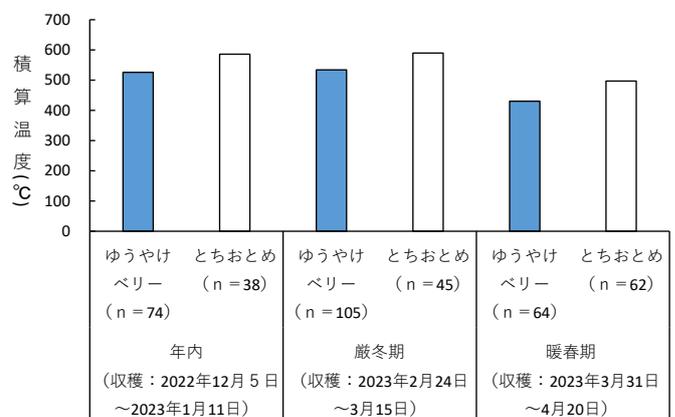


図2 収穫時期別の開花から10分着色までの積算温度
※積算温度は、ハウス内に設置したデータロガーで記録した日平均気温を合計して算出。
※「年内」、「厳冬期」、「暖春期」のラベル名は開花した時期により名付けた。

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3～7年度
- (2) 研究課題名 県産農産物の品質保持技術の開発

5 主な参考文献・資料

- (1) 佐藤ら, イチゴ果実成熟過程における品質の品種間差異, 野菜試験場報告. C9, p.23-30, 1986.